



「Re Book」の取組み

社会貢献活動

雲南地区会議(雲南事務所前)



連合島根が毎年取組んでいる「社会貢献活動」について、当地協としては12月4日(土)に各地区会議毎に実施した。各地区会議とも例年であれば、社会福祉施設等の清掃活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症が収束に至らず、昨年に引続き施設等での清掃活動は出来ないと判断し、「Re・Book」の取組みを行うことを幹事会で確認し、各地区の構成産別・単組に協力を呼び掛けました。昨年は初めての取組みであり、各地区とも沢山の古本が集まりましたが、今年は周知が遅くなったことが原因なのか、昨年の半分ほどの集約結果となりました。しかし、昨年にはなかった一般の方からも古本を提供して頂き、協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

◇ご協力頂いた単組◇

〔雲南地区〕

- ホシザキ労働組合島根支部
- 島根県職員連合労働組合雲南支部
- ☆一般の方持込み

雲南合計129冊

〔出雲地区〕

- 浅尾繊維工業労働組合、JP労組出雲支部
- 私鉄一畑労組、報光社労働組合
- 中国電力ユニオン出雲第二支部
- 出雲市職員連合労働組合
- ☆一般の方持込み

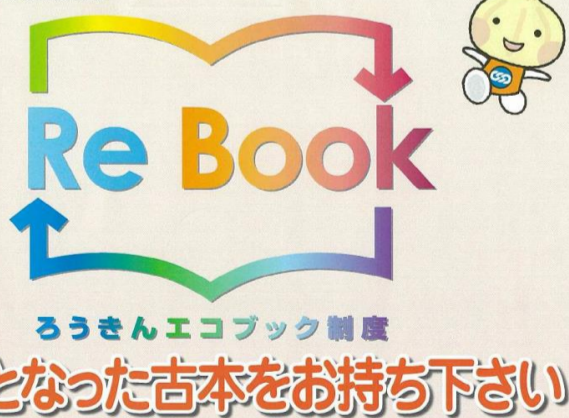
出雲合計217冊

《総合計346冊》

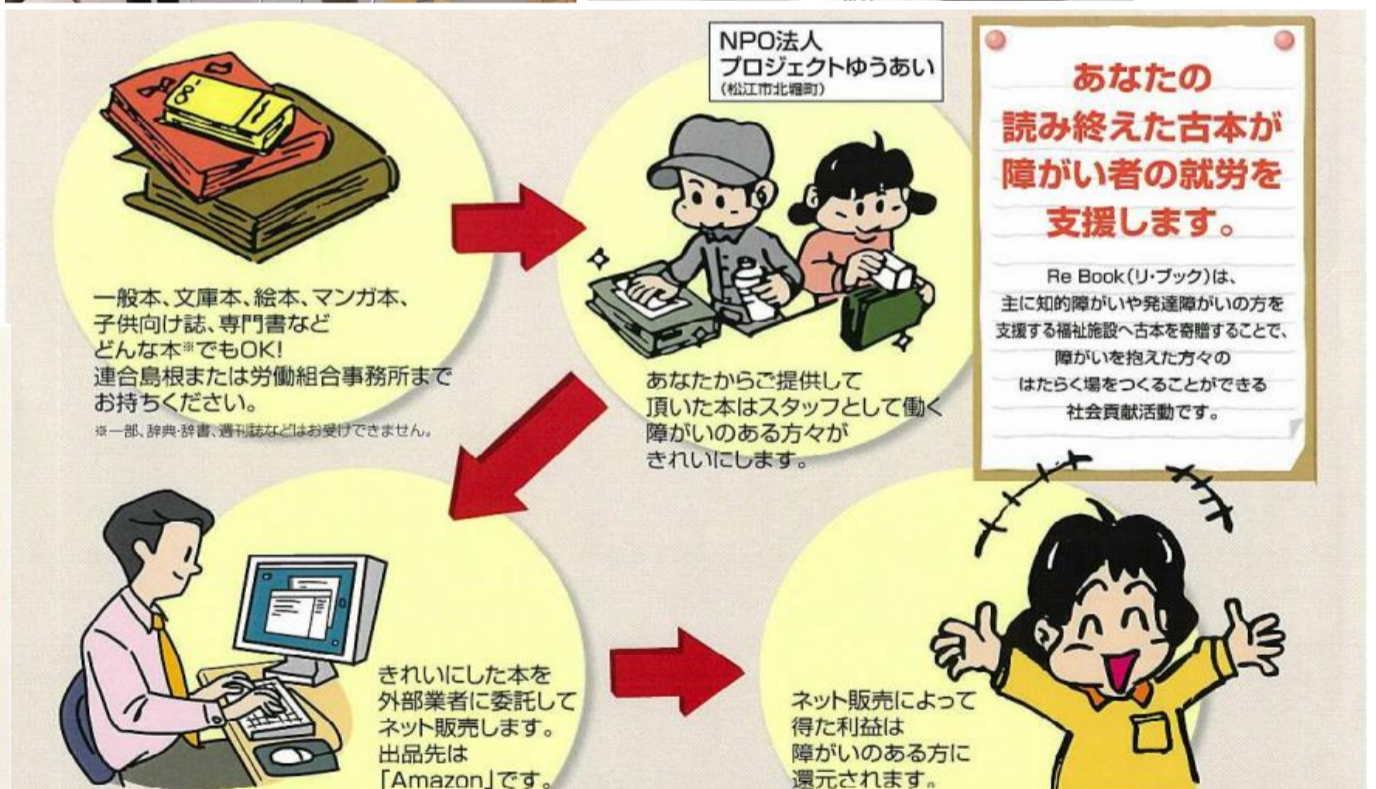
<報告>

12月7日(火)にNPO法人プロジェクトゆうあい様に届けました。

連合島根NPO法人支援事業



出雲地区会議(地協事務所1階)



食で応援！「フードドライブ」への支援

新型コロナウイルス感染症にかかわる失業・休業が広がり、日々の食事にも困窮される家庭が増加している現状において、出雲市社会福祉協議会では、失業中の家庭や収入が途絶えた学生、ひとり親家庭など経済的に困窮されている方々へ必要な食料品や日用品を届け、生活を支えることを目的に第4弾となるフードドライブを開催されるにあたり、当地域協議会へ支援要請があり食料品と生活用品を届けました。

コロナウイルス感染症は幾分落ち着いた感はあるようですが、コロナ禍で生活に困っている方はまだまだ多く、少しでもお役に立てるのであれば支援を続けていきたいと思えます。

また、今回の取組みについては、浅尾繊維工業労働組合も取組んでいると連絡がありました。取組みに感謝申し上げます。



12月10日(金)に出雲市社会福祉協議会様へ食品と日用品を届けた時の写真です。

◇報告◇

出雲市社会福祉協議会様から支援へのお礼文が届きました。12月11日(土)に257世帯589名の方へ食料品や日用品を届けることが出来そうです。受け取られた方から「皆さんのお気持ちがありがたい。とても助かります」と笑顔で持帰られたそうです。